



花壇コンクールの入賞者が決定しました

花と緑につつまれたまちづくりの推進のため、昭和47年（1972年）から実施している花壇コンクールの入賞者が決まりました。5部門で69件の参加があり、個人花壇の部（一般）では小島まさ子さん、共同花壇の部（一般）では新上野ヶ丘住宅自治会の花壇が初めて最優秀賞に選ばれました。

■最優秀賞初受賞花壇写真



個人花壇の部

（一般）



共同花壇の部

（一般）

■審査員コメント（一部抜粋）

全体的に花の生育、花色も良く、見応えがあった。特に、個人花壇の部では参加者も増え、装飾技術のレベルが高くなっている。草取りや花がら摘みについては、手入れが徹底した花壇とそうでないところと二極化していた。

共同花壇では、人手が足りずに広い花壇の管理に苦勞してみえる様子もうかがえた。

■添付資料

- ・入賞者名簿
- ・最優秀賞受賞花壇写真
- ・審査員講評

問合せ

都市建設部 花と緑の推進課
担当：加古（かこ）、戸澤（とざわ）
052-613-7812、0562-38-6403

最優秀賞

個人花壇の部（上級）
間瀬 よし子（加木屋町）



個人花壇の部（一般）
小島 まさ子（荒尾町）



共同花壇の部（上級）
花ポラの会（高横須賀町）



共同花壇の部（一般）
新上野ヶ丘住宅自治会（名和町）



保育園・学校花壇の部
三ツ池小学校（加木屋町）



令和7年度（2025年度）花壇コンクール入賞者名簿

部門	賞	氏名
個人花壇の部（上級）	最優秀賞	ませ よしこ 間瀬 よし子
	優秀賞	こたに のりこ 小谷 憲子
	〃	よねざわ たえこ 米沢 妙子
	優良賞	びょうしつ たえこ 美容室TAEKO
	〃	かたぎり まさこ 片桐 眞砂子
個人花壇の部（一般）	最優秀賞	こじま まさこ 小島 まさ子
	優秀賞	すずき よしり 鈴木 克典
	〃	わたなべ ゆきえ 渡邊 幸枝
	優良賞	なかやま きょうこ 中山 恭子
	〃	くろき むつこ 黒木 睦子
	努力賞	やまもと としいち 山本 敏一
	〃	はない まきこ 花井 まき子
	〃	いなば けいこ 稲葉 恵子
共同花壇の部（上級）	最優秀賞	はなぼらのかい 花ボラの会
	優秀賞	あらおじゅうたくちょうないかい 荒尾住宅町内会
	〃	かなんはなさかせたい 加南花咲かせ隊
	優良賞	あわいけはなさかせたい 泡池花咲かせ隊
	〃	かなんはなさくもりのかい 加南花咲く森の会
	努力賞	あわいけはなそうかい 泡池花草会

部門	賞	氏名
共同花壇の部（一般）	最優秀賞	しんうえのがおかじゅうたくじちかい 新上野ヶ丘住宅自治会
	優秀賞	おおいけんこうこうりゅうのいえ 大池健康交流の家
	〃	おおいけしにあくらぶ 大池シニアクラブ
	優良賞	みなみかぎやだいちちかい 南加木屋台自治会
	〃	みついけれもんのかい 三ツ池レモンの会
保育園・学校花壇の部	最優秀賞	みついけしょうがっこう 三ツ池小学校
	優秀賞	わたうちしょうがっこう 渡内小学校
	〃	よこすかしょうがっこう 横須賀小学校
	優良賞	ふきしまちゅうがっこう 富木島中学校
	〃	なわちゅうがっこう 名和中学校
	努力賞	かぎやちゅうがっこう 加木屋中学校
	〃	なわしょうがっこう 名和小学校
	〃	めいりんしょうがっこう 明倫小学校
〃	かぎやほいくえん 加木屋保育園	

1 各部門の最優秀賞の講評

(1) 個人花壇の部（上級）

すべてが見応えのある美しい花壇ばかりであったが、最優秀者はピンク色を中心とした花々が一斉に咲き揃い、装飾の規模も大きく見応えがあり、春爛漫の雰囲気は他を圧倒した。花苗も種まきから育てられたものが多く、技術力の高さも感じた。

(2) 個人花壇の部（一般）

上級の部にも劣らない見事な花壇が数多くみられ、市内の個人庭園の装飾意欲の高さを感じた。最優秀者は栽培技術が高く、それぞれの鉢花が元気に美しく育てられていた。雑壇に飾られ全体の花揃えも美しかった。

近隣の住宅にも草花装飾が波及し、街中全体が美しくなっている様子にも感服した。

(3) 共同花壇の部（上級）

広い花壇の中を歩けるようにレンガを使い、パーツごとに不整形な花壇を作り、その中に草丈の高低をつけながら多くの種類の草花が植栽されていた。また、花壇の中にコンテナガーデン、背面にはトレリスを配置してハンギングバスケットをかけ、立体的にも見応えがあった。

(4) 共同花壇の部（一般）

広い花壇の中を歩けるようにパーツごとに整形な花壇を作り、手前には丈の低いデージーやパンジー、奥には丈の高いチューリップやリナリアを中心に多くの種類の草花が植栽されていた。色彩的にも春らしく、黄、白、ピンク、紫色と色調がまとまっていた。

(5) 保育園・学校花壇の部

全体的に草花の生育が良く、パンジーなどが美しく咲いていた。また、前年に比べて、草取りや花がら摘みなどの手入れも前進していると感じた。

最優秀者は児童、先生、地域が一体となって、日々の手入れを行っている状況がみられ、花の生育、配色共に素晴らしかった。

2 総評

全体的に花の生育、花色も良く、見応えがあった。

特に、個人花壇の部では参加者も増え、装飾技術のレベルが高くなっている。草取りや花がら摘みについては、手入れが徹底した花壇とそうでないところと二極化していた。

共同花壇では、人手が足りずに広い花壇の管理に苦労してみえる様子もうかがえた。

学校花壇では、卒業式などで飾られた鉢花も花壇に添えられ、一層華やかさを演出していた他、熱心な担当者からの質問もあり、より美しく飾りたいという意欲も強く感じた。

令和7年（2025年）4月17日

審査員

名古屋市みどりの協会 緑の相談員 谷澤 隆
梶田 靖